



楽しんで体を動かし遊ぶ

保育長 長下部 佐織

新園舎の工事に伴う状況を踏まえた環境構成の工夫の継続により、子どもたちは、日々園内の様々な場所や屋上、小学校の体育館、散歩などで体を動かして遊んでいます。

先日、幼稚園の運動会リハーサルを2・3歳児も見学しました。年長組のパラバルーンを見た子どもたちは、圧巻の動きに目を丸くしながら釘付けになっていました。

体を動かして遊ぶきっかけはいろいろとあると思いますが、「やってみたいな」「やってみよう!」「〇〇ちゃんがしていることが、楽しそう」「友達と一緒に、楽しいな」「先生と一緒に」と、子どもの気持ちが大きいかと思えます。今回、異年齢の運動遊びの様子を見る機会では、「やってみたい」という気持ちが高まったようです。感染症対策のため、まだ日常的な交流は難しい部分もありますが、このような異年齢の関わりの機会を大切にしていきたいと思えます。

運動会は保護者の皆様に、体を動かして遊ぶ子どもたちの姿をご覧いただく機会です。各学年のねらいを踏まえた内容となっておりますが、何よりも、子どもたちが、伸び伸びと体を動かして遊ぶ楽しさを味わうこと、全身を使って様々な動きを楽しむことを大切にしています。2歳児は、自分の体をイメージしたように動かせるようになってきたこと、3歳児は、運動遊具を使った様々な遊びを楽しめるようになったこと、4歳児は、友達と一緒に楽しみながら体を動かすことができるようになったこと、5歳児は、友達と力を合わせ、一体感と達成感を味わえるようになってきたことなどの姿から成長が感じられます。

これからも、子どもたちが様々な「遊び」を通して運動の経験を重ねていき、楽しく主体的に遊ぶことのできる十分な時間と空間、友達との関わりを大切に、心と体の豊かな成長を支えていきたいと思えます。